



日本骨髄バンクの現状（平成 27 年 4 月末現在）

	3 月	4 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,150	2,099	451,085	637,174
患者登録者数	250	295	2,866	44,770
移植例数	105	97	—	18,160

■4 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,320 人
20 代	70,968 人
30 代	144,977 人
40 代	183,609 人
50 代	49,211 人

■4 月の 20 歳未満の登録者 305 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■4 月の区分別ドナー登録者数： 献血ルーム／481 人、献血併行型集団登録会／1,564 人、集団登録会／6 人、その他／48 人

■4 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数: 103 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 骨髄移植・末梢血幹細胞移植及びさい帯血移植数 3 万例到達

本年 4 月 16 日、日本骨髄バンク及びさい帯血バンクを介した非血縁者間の骨髄移植・末梢血幹細胞移植及びさい帯血移植の累計移植数が 3 万例に到達しました。骨髄・末梢血幹細胞については、本年 3 月末で累計移植数が 1 万 8 千例、このうち末梢血幹細胞の累計移植数は 100 例に到達しました。

一人でも多くの患者さんに移植の機会を提供できるよう、関係者一同、今後とも努力を続けてまいります。ドナーの皆様をはじめ、ご協力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

2 平成 28 年度の国庫補助金要望について

平成 28 年度国庫補助金要望として、当法人では (1) AC ジャパンの公共広告による若年層 PR にかかる費用、(2) コーディネート支援システムの再リース費用、(3) WMDA および BMDW 加盟にかかる費用の 3 項目を厚労省に提出しました。

(1) は本年 7 月から再開し、少なくとも 2 年間は継続する AC ジャパンのテレビ CM や交通広告の制作にかかる費用への補助です。

(2) は当法人の基幹業務システム「コーディネート支援システム」へのシステム再リース費用を要望するものです。日本赤十字社主導で実施する造血幹細胞システム一元化基本構想で、後継となるコーディネート支援システム部分が平成 30 年以降の稼働を想定しており、平成 29 年 2 月から少なくとも 1 年間の再リースが必要になるためです。

(3) は骨髄バンク事業の国際協力に必要な WMDA（世界骨髄バンク機構）および BMDW（世界骨髄バンクドナーHLA 型種類別データ集計システム）の加盟費への補助です。

3 AC 支援キャンペーンに上原投手、7 月からスタート

1 年間中断していた AC ジャパンの骨髄バンク支援 CM が 7 月から再開します。新 CM には、平成 18 年 6 月にドナー登録を行った上原浩治投手が登場します。上原投手はこれまでも血液疾患で闘病中の子どもたちとの交流や骨髄バンク推進全国大会への参加などを通じて骨髄バンクを支援していただいています。

AC 広告キャンペーン再開により、さらにドナー登録者拡大のための広報活動を充実させ、ドナー登録を強く働きかけてまいります。



4 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 87 施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

- ・採取施設
 - ・移植診療科
- 昭和大学病院 同左 血液内科

新規認定施設については、当法人ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院、または、ドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でご覧いただけます。

5 全国骨髄バンク推進連絡協議会の「日本縦断キャラバン」がスタート

認定特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会が、設立 25 周年記念事業のひとつとして「日本縦断キャラバン」を 4 月 24 日(金)にスタートさせました。

「日本縦断キャラバン」は、キャラバンカーを骨髄バンクのドナーがドライバーとなって、沖縄から北海道までの全ての都道府県を約 2 カ月かけて巡ります。各都道府県では骨髄バンク・さい帯血バンクをアピールするために趣向をこらしたイベントを企画しています。

キャラバンカーは 4 月 24 日(金)に沖縄県庁で出発式を行った後、6 月 28 日(日)の札幌市での完走式に向けて全国を走行中です。日本縦断キャラバンについての詳細は同協議会のホームページをご覧ください。

<http://www.marrow.or.jp/>

6 国会議事堂内でドナー登録会開催

4 月 22 日(水)に国会議事堂内衆議院中庭で献血と骨髄バンクのドナー登録会が開催され、20 名の方がドナー登録されました。また、骨髄バンク・さい帯血バンク推進議員連盟会長の野田聖子会長を始め、11 名の議員の方が来場されました。ご協力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

7 骨髄ドナー支援チャリティー公演「LIFE」の上演について

5 月 21 日(木)～24 日(日)の 4 日間、築地本願寺ブディストホールにおいて、骨髄バンク支援チャリティー公演「LIFE ～LIVE FOR LIVE(生きる為に生きる)～」の上演が決定しました。マフィアの内部抗争によって引き裂かれた二人の幼馴染の恋の行方と白血病との闘いという題材を軸に、生きる為に生きるとはどういうことかを表現した舞台です。今回の舞台の主催は、LOVE&ROCK、後援は LIVE FOR LIFE です。

舞台「LIFE」についての詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.loverockstars.net/life/>

8 SUPER GT が今シーズンも骨髄バンクを支援

今年も、全国 5 つのレース会場で「SUPER GT」による骨髄バンク支援活動が実施されます。5 月 2 日（土）に開催された「富士スピードウェイ」では、アンドレ・クート選手やスターウォーズ軍団による骨髄バンク PR イベントが実施され、クート選手自ら、リーフレットを配布しました。アンドレ・クート選手は GT300 にエントリーした全 27 台中、今季初優勝をしました。また、献血と一緒にドナー登録会が行われ、多くの方にご協力いただきました。

9 読売巨人軍による支援

5 月 17 日（日）、プロ野球読売巨人軍の「G ハンズデー」と称した骨髄バンク支援が今年も開催されます。G ハンズとは、読売巨人軍が行ってきた社会貢献活動をさらに発展させ、選手やスタッフ、ファンが一体となって支援の輪を広げていくプロジェクトです。会場となる東京ドームでは、リーフレットやジャビットステッカーの配布を行うほか、ドナー登録会が行われる予定です。また、オーロラビジョンでは、菅野投手による応援メッセージが放映され、同映像は当法人 YouTube チャンネルでも公開する予定です。

なお、この日は東海大学医学部付属病院（神奈川県伊勢原市）の院内学級の子供たち約 20 名が G ハンズプロジェクトの「ドリームボックス」に招待される予定です。

10 ドナー助成制度導入の自治体が 100 を越えました

骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのために助成制度を導入している自治体が全国で 100 を越えました。（本年 5 月 10 日現在、102 自治体）

【新たにドナー助成制度を導入した自治体】

- 前橋市（群馬県） ○新発田市（新潟県） ○津市（三重県）
- 宇部市（山口県） ○大村市（長崎県） ○中津市（大分県）

制度の内容は各自治体によって異なります。ホームページにお問い合わせ一覧を掲載しています。

11 県別登録者数（人口比）の変更について

提供希望者都道府県別登録者数（資料 2）について「登録対象年齢人口における登録者数」の統計基準を変更します。「18～54 歳人口（千人）」は、総務省「平成 17 年国勢調査」18 歳～54 歳の夜間人口と昼間人口を使用しておりましたが、平成 27 年 4 月末現在データより総務省「平成 22 年国勢調査」を使用します。「平成 22 年国勢調査」では、年齢別人口が 5 歳階級で公表されているため統計基準を 20 歳～54 歳の夜間人口と昼間人口に変更します。

12 末梢血幹細胞移植件数に関する訂正とお詫び

前月（4 月 15 日）発行の当紙一番目の記事「平成 26 年度の移植数、ドナー登録者数の実績について」において、「末梢血幹細胞移植は 54 件で、前年度に比べ 35 件増加しました」と記載しましたが、「末梢血幹細胞移植は 62 件で、前年度に比べ 43 件増加しました」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

13 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	5月19日（火）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室
アドバイザーリーボード会議	公開	5月20日（水）14：30～廣瀬第2ビル地下会議室
第7回通常理事会	公開・一部非公開	6月9日（火）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	6月13日（土）12：30～廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	6月13日（土）13：00～廣瀬第1ビル2階会議室
第4回通常評議員会	公開・一部非公開	6月16日（火）14：00～廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

14 帳票「コーディネートのお知らせ(適合通知)」の変更について<コーディネーターの方へ>

適合通知に提示されているコーディネートの日程と実際の日程に差異があり、迅速コース対象のドナーの方に混乱を与えかねないことから、ドナー宛てに送付している「コーディネートのお知らせ(適合通知)」の記載内容について見直しました。

<ポイント>

1. 迅速コーディネートは現行通り継続します。（基本的な考え方は変更ありません）
2. ドナー宛ての適合通知は、以下のとおり変更します。ただし、コーディネーター宛ての迅速関連の帳票には変更はありません。

(1) 開始シート返信の目途と、一般的な採取時期の案内を記載

(2) コース標記を削除

(3) 迅速アンケートを廃止

(4) 標準の場合についても(1)と同様に変更

※同封の「改訂版・適合通知」（帳票見本）をご参照ください。

<変更日>

本年5月20日(水)の初期コーディネート担当発送分より

15 造血幹細胞の凍結事例報告について<コーディネーター・医師の方へ>

これまで、17例の造血幹細胞の凍結申請に関して報告しましたが、昨年10月から本年3月までの間に、2例の凍結申請がありました。いずれも採取日程の再調整が不可能だったことが前提です。詳細については、別紙「造血幹細胞の凍結申請事例報告」をご参照ください。当法人ホームページ<医師の方へ>医師宛通知文でもご覧いただけます。